

令和5年度第1回健康ちば21（第3次）計画策定作業部会 結果

- 1 日 時 令和5年8月21日（月） 午前9時30分から正午まで
- 2 場 所 千葉県教育会館202会議室
- 3 出席者等 委員10名、事務局7名

計17名

4 議題

（1）報告事項

- ①「健康ちば21（第2次）」の最終評価について
- ②令和5年度第1回健康ちば地域・職域連携推進協議会内容について

（2）協議事項

- ①健康ちば21（第3次）の素案について
- ②健康ちば21（第3次）の指標案について
- ③今後の健康づくり施策の検討案について

5 委員からの意見

- 県として「こども」の範囲をどこまで対象とするか示す必要がある。
- 普及啓発中心の施策から環境づくりの強化へシフトすることについて計画に明記する必要がある。
- 喫煙等の分野に関する指標のデータソースの信ぴょう性をどう担保するかが問題であり、20歳未満を対象にアンケートをとっても喫煙していないと回答されるのではないか。
- 千葉県は地域格差が非常に大きいため、地域格差縮小には市町村ごとのデータが必要ではないか。
- 保健・医療関連だけでなく、まちづくりや教育に関連する計画とも連携を図ることができると良いのではないか。
- 労働者の高齢化に伴う労働災害についても計画の中で触れられると良い。
- こどものやせの割合を指標としてはどうか。
- 低出生体重児を減らすため、妊婦の食事指導や適正体重に向けた食事指導の充実を加えてはどうか。

- 健康ちば21（第2次）の最終評価で、「E（評価困難）」となっている項目がある。
健康ちば21（第3次）では、評価困難となる項目がないように事前に検討する必要がある。
- 20～30歳代女性のやせの割合に関する該当者数が少ないため、他のデータソースを活用することも必要ではないか。
- 県と市町村が一体となった健康経営事業を行うことができると良い。
- CKDの指標について、「eGFR<45」はかなり厳しい値だと思う。「eGFR<60」でも良いのではないか。
- 文言が統一されていないので、統一した方が良い。